

# 海の事故情報（七管区） 【速報値】（7月4日～7月10日）

令和4年7月15日

船の事故	発生日	発生日	船船種類	事故形態
	7月6日（水）	長崎県	プレジャーボート	運航不能
	7月10日（日）	福岡県	プレジャーボート	単独衝突
人の事故	発生日	発生日	事故区分	事故内容
	7月6日（水）	山口県	船舶海難によらない乗船者の人身海難	負傷
	7月7日（木）	山口県	マリレ以外の海浜事故	負傷

## 運航不能（バッテリー過放電） 海難発生！

【問合せ先】  
第七管区海上保安本部交通部 安全対策課長 古場  
安全対策調整官 川部  
TEL：093-321-2931（内線2640）

### 【事故事例】

令和4年7月6日18:00頃、船長1名でプレジャーボートに乗り出港し、沖合にてアンカーを入れエンジンを停止、魚釣りを始めた。  
同日20:00頃、魚が釣れなかったため、漁場を移動しようとエンジンを起動したが、エンジンが始動しなかった。知人に救助を求めたが、連絡が付かなかったことから、海上保安庁に通報したものの。  
船長は、当日巡視艇により救助され、船体は、後日同人所有の別の船舶にて曳航され、入港後、船内のバッテリーを交換したところ、復旧した。  
事故原因となったバッテリーは2年前から使用しているものであった。



### ◇よく「バッテリーが上がる」って聞くけど...？

バッテリーとは鉛蓄電池のことで、「バッテリーが上がる」とは、何らかの理由でバッテリーに蓄えられた電気が減少し、エンジン始動分の電気がなくなってしまう状態のことです。

バッテリーが上がるとエンジンが始動できなくなり、航行不能になります。

そのまま潮に流されて乗揚げ、という事例も数多く発生しています。

常日頃から、説明書にある点検を実施して下さい。



### ◇そのバッテリー、いつから使ってますか？

バッテリーは使用しなくても自然放電するため、徐々に容量が減り、寿命が短くなります。

同型のバッテリーでも使用条件、使用頻度等によって異なりますが、2～3年での交換をおすすめします。

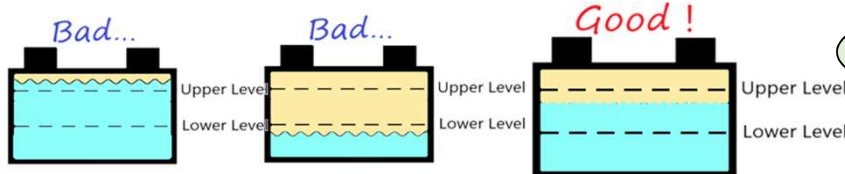
バッテリーは  
消耗品です！



洋上でトラブルを避けるために！今こそあなたの手で、目で、点検しましょう！

### ○液量の確認

液量が最高液面線(Upper Level)と最低液面線(Lower Level)の間以上に入っていることを確認しましょう。多すぎると液(希硫酸)があふれ、機器の損傷や火災の原因になります。少なすぎてもバッテリー内部の劣化が進み、バッテリーの寿命を縮める原因になります。



液口栓(キャップ)の  
締め忘れはないかな？

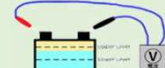


### ○端子の確認

バッテリーのケーブル端子に緩みがなく、締まっていることを確認しましょう。また、端子の周りに青緑色の錆はありませんか？接触不良の原因になるため、錆を発見した場合はブラシ等で掃除してください。



エンジン停止状態で、バッテリーの端子間電圧は12.5vが目安！  
これ以下の場合は、充電しましょう！



必ず取扱説明書をよく読んでから作業してください！  
少しでも整備に不安を感じたら必ず整備業者に相談・依頼しましょう！

